

専修免許状取得オンライン講座

(免許法認定通信教育)

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（知的障害者に関する教育）の一種免許状をお持ちで、該当の免許状での教職経験年数が3年以上の方は、裏面のいずれか4科目（16単位）の単位修得で専修免許状への上進が可能です。

POINT

- PCを利用する通信教育のため、ご自宅ですべて学修できます。
- 1科目からお申し込みいただけます。
- テキスト学修、レポート・試験のみで単位修得が可能です。（スクーリングなし）
- 上進にあたっては教職経験が3年以上必要です。



- ・最新の教育を学び直したい
- ・発達が気になる子のサポート方法を学びたい
- ・個別最適な学び・協働的な学びを実現させたい
- ・生徒とよりよく向き合いたい など

こういったニーズをお持ちの方はぜひお申し込みください



2023年

- 5月27日（土）
- 6月25日（日）
- 7月16日（日） 7月29日（土）
- 8月16日（水） 8月27日（日）
- 9月10日（日） 9月23日（土）
- 10月29日（日）
- 11月25日（土）
- 12月24日（日）

2024年

- 1月27日（土）
- 2月25日（日）



■受講環境

受講にはインターネット環境を有したパソコンが必要です。WEBカメラは不要です。推奨環境は以下の通りですのであらかじめご確認の上、お申し込みください。

- 【OS】Windows 8 / 10、Mac OS X (10.9以上)
- 【ブラウザ】Chrome, Firefox, safari, Microsoft Edge
- 【ソフト】Microsoft Word

専用学修サイトへログインし、動画視聴、ワードによるレポート・試験作成、PDFファイル・ワードファイルのアップロードとダウンロードを行います。

■受講料

1科目（4単位）50,000円（テキスト代別）

該当の免許状での教職経験年数が3年以上の方は、裏面のいずれか4科目（16単位）の単位修得で専修免許状への上進が可能です。

専修免許状申請に必要な「学力に関する証明書」の発行は別途手数料がかかります。

お申込み・詳細は「せいさ大学 免許法認定通信教育」で検索

特別支援教育の科目

発達臨床実践特論 (R5認定通信) 【小・中・高・特支】

発達障害の児童生徒に対する指導方法について、WISC-IVによる特性理解やそれに基づいた指導の在り方について具体的事例を挙げながら論及する。インクルーシブ教育の構築していくための取り組みは始まったばかりだが、その本質は基本的な方向性は障害のある子どもも障害のない子どもも、できるだけ同じ場所で共に学ぶということにある。そのような観点から、通常学級にいる発達特性上さまざまな困難を抱える児童生徒を支援する方法について考察する。

教育のユニバーサルデザイン特論 (R5認定通信) 【小・中・高・特支】

教育のユニバーサルデザインとはより多くの子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。本科目では、おもに、①通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくり、②合理的配慮(知的障害、学習障害、LD、ADHD等への支援を含む)と教育のユニバーサルデザインの融合による支援のあり方、③ユニバーサルデザインに関わる教育の動向(海外も含む)、に関して検討・考察する。

認知教育特論 (R5認定通信) 【小・中・高・特支】

本科目では、認知と発達をキーワードに、読むこと、書くこと、数の理解と計算の発達過程について学び、知的発達症(知的障害)を含む精神発達症(発達障害)のある子どもを中心に、学習上のつまずきに対応した支援方法を検討できる力をつけることを目指す。ここでは、読むこと、書くこと、数と計算という教科教育の基本となる認知能力に焦点をあて、国語と算数の学習支援のあり方について、最新の知見を踏まえて、研究を深めることを目標とする。この科目をとおして、知的発達症(知的障害)を含む精神発達症(発達障害)のある子どもだけではなく、すべての子どもを中心に置き、教育の公正性とインクルーシブ教育について、理解を深めることを期待する。

行動障害臨床特論 (R5認定通信) 【小・中・高・特支】

発達障害は、言語や読み書き計算などの認知発達の遅れを特徴とする。それらの発達が遅れると、社会性の遅れも同時に見られることになり、また、適切な行動を獲得していけないと、コミュニケーション機能を持つ「問題行動」を誤学習することが予想され、その結果、強度行動障害と呼ばれる状態にもなりえる。「問題行動」を誤学習させず、適切な行動やスキルを学習させていくことを目指していくことは、障害のあるなしに関わらず、重要なことである。本科目では、応用行動分析学に基づいた指導法を学ぶことによって、発達障害のある人達への合理的な教育支援方法を修得していくことを目指している。

その他の開講科目

学級経営・学校経営特論 (R5認定通信) 【小・中・高】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の「一体的充実」など学級経営、学校経営の今日的な課題をとらえ、教育目標の達成を目指す組織的計画的な運営及び学びの場における相互関係の形成について理解する。学びの場における相互関係は、「主体的対話的で深い学び」を通じて、これからの時代に求められる「資質・能力」を育成する基盤である。一人一人の自立と成熟を支える集団の形成と維持・向上に求められる知識・技能・態度について理解し、学びの基盤を構築する組織運営の観点から学級経営・学校経営について考察する。

教育社会学特論 (R5認定通信) 【小・中・高】

教育や何らかの事象を測る際、そこに個々の違い(差異)があります。「差異」に優劣が付き、その差異が問題とされ、その問題は是正されるべきと見なされた時、その「差異」は「格差」と呼ばれます。本科目では、現代の教育を捉える上で「教育格差」という観点を切り口に考えます。前半では、教育格差という問題にまつわる教育社会的な考え方を学修し、後半では、教育格差の各学校段階別の実態、学校間での関わりを学修していきます。最終的には、「自身の身の回りにおける教育格差の問題は何か」を考え、自身で何らかの解決の糸口を見だし、または実態に基づき、自身にできることを考えていきましょう。

教育方法学特論 (R5認定通信) 【小・中・高】

本科目では、「主体的・対話的で深い学びの実現」または「令和の日本型学校教育」において求められている「個別最適な学びと協働的な学びの実現」に資する授業・教材デザイン、授業研究に焦点を当て、主に以下の3点について学んでいきます。①「令和の日本型学校教育」の姿、今後の方向性について理解する。②学習科学の基礎的事項を学習するとともに、自ら設定した授業テーマで「主体的・対話的で深い学びの実現」または「個別最適な学びと協働的な学びの実現」に資する授業をデザインし、教材としてワークシートを作成する。③授業研究の理論的事項や事例について学習するとともに、実用性のある授業研究の方法を提案する。

お申込みから学修・証明書発行の流れ



お問い合わせは、E-mailにて

星槎大学大学院 横浜キャンパス

E-mail: nintei@seisa.ac.jp

<https://gred.seisa.ac.jp/>

お気軽に
ご相談
ください